

宮城県感染症発生動向調査情報

令和06年05月09日発行

2024.4.29 ~ 2024.5.5 - 第18週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病		保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)	
		仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計
インフルエンザ/COVID-19定点	インフルエンザ	13 1.86	7 0.44	7 0.70	5 0.50		16 0.36	48 0.53	23,393
	新型コロナウイルス感染症	33 4.71	32 2.00	39 3.90	34 3.40	29 9.67	69 1.57	236 2.62	17,702
小児科定点	RSウイルス感染症	19 4.75	6 0.60		1 0.17		20 0.74	46 0.85	406
	咽頭結膜熱	4 1.00	5 0.50		7 1.17		13 0.48	29 0.54	1,256
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	23 5.75	18 1.80	7 1.17	19 3.17	2 2.00	72 2.67	141 2.61	3,520
	感染性胃腸炎	23 5.75	27 2.70	11 1.83	12 2.00		79 2.93	152 2.81	4,601
	水痘						5 0.19	5 0.09	132
	手足口病				1 0.17		1 0.04	2 0.04	40
	伝染性紅斑							0 0.00	9
	突発性発しん		1 0.10	3 0.50	3 0.50	1 1.00	6 0.22	14 0.26	238
	ヘルパンギーナ							0 0.00	10
	流行性耳下腺炎		1 0.10				1 0.04	2 0.04	29
眼科定点	急性出血性結膜炎						0 0.00	0	0
	流行性角結膜炎						2 0.33	2 0.17	46
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)						0 0.00	0	1
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)						0 0.00	0	1
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)						0 0.00	0	3
	マイコプラズマ肺炎						0 0.00	0	4
	無菌性髄膜炎						0 0.00	0	3
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)						1		
	川崎病								
	不明発疹症						3		

※ 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

※ 今週の新型コロナウイルス感染症による入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)34例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 報告なし

3類感染症: 報告なし

4類感染症: A型肝炎
仙台南管内 男性1名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
仙台南管内 男性1名(*Klebsiella pneumoniae*)
侵襲性肺炎球菌感染症
大崎管内 男性1名
仙台南管内 女児1名*
梅毒
仙台南管内 女性1名

*女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～
検出情報はありません。

～仙台医療センターウイルスセンター～

	中間報告		
	確定 第15週採取分 (4.8~4.14)	第16週採取分 (4.15~4.21)	第17週採取分 (4.22~4.28)
インフルエンザウイルスB型(ベクトリア系統)	2件	0件	0件
RSウイルス	1件	1件	2件
ヒトメタニューモウイルス	2件	0件	0件
アデノウイルス	1件	0件	0件

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】

塩釜管内	第15～16週採取分	BA.2.86系統	2件
大崎管内	第15～17週採取分	BA.2.86系統	4件
		組換え体*	3件
石巻管内	第12～17週採取分	BA.2.86系統	5件
		XBB.1系統	1件
		組換え体*	8件

*BA.2.86.1とFL.15.1.1の組換え体

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

仙台南管内で警報レベルを継続中です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>

宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課

電話 022-211-2632(新型コロナウイルス感染症に関するお問い合わせ)

前週までの結果は下記URLを参照ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

4. 今週のコメント

第18週は、多くの疾病で定点当たりの報告数が前週より減少しましたが、ゴールデンウィークの影響も考えられます。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎や感染性胃腸炎などについては、第3週以降、患者報告数が高い傾向を継続していますので、今後の動向に注意が必要です。こまめな手洗い、換気、咳エチケットなど基本的な感染対策を心がけましょう。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

